

峯みねのたより

私たちのお寺、長泉寺の会報誌。

宗立専門僧堂特集号

新装刊 010号
2013年12月21日発行

〒981-1505
宮城県角田市角田字長泉寺69番地
電話 0224 (62) 1004
FAX 0224 (63) 0063
<http://www1.odn.ne.jp/chosenji/>

曹洞宗 長泉寺
六国峯

国際環境規格ISO-14001 認証取得のお寺



国際的禅研修道場「第7回 曹洞宗 宗立専門僧堂」閉単

外国人僧侶が長泉寺に結集し、3カ月間の安吾・研修を修了

長泉寺で8月26日から開単されていた宗立専門僧堂は、去る11月18日にめでたく閉単を迎えることができました。期間中、檀信徒および有縁の皆様には物心両面で大なご支援をいただき、衷心より感謝を申し上げます。

宗立専門僧堂とは、海外の修行僧と共にグローバルな見地から禅を学び合う特別な研修であり、曹洞宗が平成19年(2007年)から国内外で毎年執行している修行道場です。第7回目の今回は、10人の掛搭僧(アメリカ人5・フランス人3・ドイツ人1・オランダ人1)が参加し、私たちのお寺を道場として3カ月間の安居を行いました。

檀家を有する寺院で初の開単、信徒との交流に大きな意義

これまでの宗立専門僧堂では、

いずれも檀家を有さない修行専門のお寺を会場としてきました。いわば世間と隔離された場ですから、修行に専念しやすい環境ではあります。法事や日々の信仰の実態など「日本における寺院と檀家との関わり方」について、外国人掛搭僧に伝えづらいという側面もありました。

今回、私たちのお寺が道場となり、外国人修行僧が葬儀などさまざまな法要を実体験でき、檀信徒の皆様と直に接する機会が得られたのは、宗立専門僧堂の新展開ともいえる意義深いことでした。このたびの皆様方のご協力は、曹洞宗が国際化を促進していく上で、大きな一歩を踏み出す力となりました。

この貴重な経験を糧として、私たちの信心を育みましょう

宗立専門僧堂の期間中は、外国人掛搭僧だけでなく、堂長老師をはじめ曹洞宗の名だたる老師方が指導のために長泉寺に滞在されました。角田の地を舞台として、国際的かつ非常に高度な修行・研修が行われたのです。

このたびの経験により、私たちのお寺が「曹洞宗の中心的な活動ができる寺院」として成長できたことを、檀信徒の皆様とともに喜び、さらなる精進への糧にしたい

と思います。これを機に皆様方には、長泉寺を以前にも増して安心できる確かな拠り所とされ、今後もしつそうのご信心をいただきましたと願っております。

【用語解説】

開単/閉単……僧堂(道場)を開くこと/閉じること

安居……托鉢等を除いて外出を禁じ、坐禅修行に専念すること

掛搭僧……1カ所に滞在して修行する禅僧のこと



開単式

平成25年8月26日



進退習儀

修行生活での基本的な起居を学習



参禅

坐禅、無言摂心、僧堂行茶などの修行



作務・僧堂行鉢

食事、清掃などもすべてが修行の一環



充実した指導体制に恵まれて、
専門僧堂は順調な滑り出しに

僧堂開単の前日、男僧6人・尼僧4人の外国人掛搭僧が長泉寺に上山しました。最高齢で65歳、最若齢者でも28歳の掛搭僧は、それぞれ母国で修行を重ねており、10人中6人は過去にも宗立専門僧堂を経験しているため、滞りなく安居を開始することができました。

開単から最初の6日間は「旦過寮期間」として、法堂や僧堂における基本的な作法を学ぶ「進退習儀」を設け、お袈裟の掛け方や着物の着方・畳み方、応量器の扱い方などを指導しました。また、今回の僧堂では、僧堂生活の経験豊富な日本人僧による「古参」という役職を新たに設けたことで、進退の指導が充実していました。

僧堂運営に関しても、鈴木堂長老師をはじめ、通訳も務めていただいた佐々木監事、進退指導を統括された吉松講師、師家養成所所員の方々、事務を担当された輝元副監事およびヨーロッパ総監部・国際センター職員の方々に長期間滞在していただいたことに加え、私（成賢）が堂監を拝命して常駐できたこともあり、これまでの宗立専門僧堂に比して遜色のない運営ができました。そして、何よりも護持会担当役員および檀信徒の

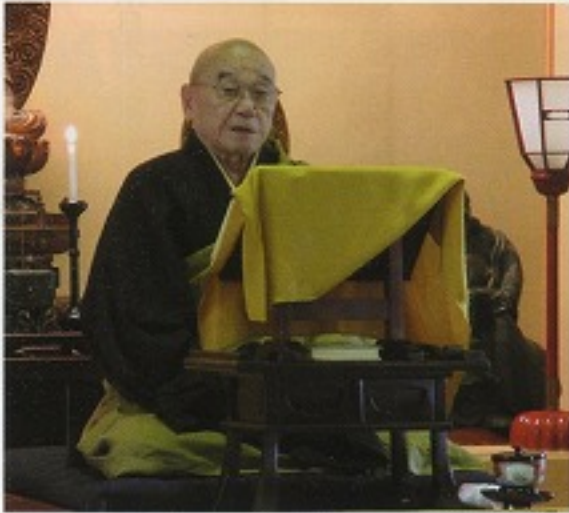
法式・声明
毎日の勤行や月間・年間行持の実践



公務習儀
僧堂での日常公務を学習・実践



宗乗
曹洞宗の教義についての提唱・講義



皆様からのご尽力により、このたびの僧堂を円成できたと感謝しております。

【用語解説】

旦過寮……修行僧の宿泊寮舎であり、正式に掛塔が許されるまでの予備教育施設ともなる
 応量器……禅宗の修行僧が使用する個人の食器のこと

堂長／堂監／監事……宗立専門僧堂の運営に必要な役員で、校長／副校長／教務主任の職を担う

坐禅や勤行などの実践に加え、教義や文化への理解を深める

曹洞宗には外国籍の僧侶が約740名在籍しており、曹洞禅は世界的規模で日々拡大を続けています。こうした国際化に対応するため、外国人出家僧を対象に師家を養成することが、宗立専門僧堂の主目的の一つです。従って、掛搭僧の修学内容は非常に高度であり、多岐にわたります。

参禅や法式・声明はもちろんのこと、期間中の生活すべてが修行・研修となるよう、綿密に教育課程を組まれています。また、宗乗・余乗ともに優れた講師陣による講義とディスカッションの機会が設けられました。

今回の宗立専門僧堂のテーマは、

余乗

仏教と禅の広汎な講義・ディスカッション



人権学習

東日本大震災の被災地を訪問・視察し、供養法要を執行



閉単式

平成25年11月18日



道元禅師による『正法眼藏』の『現成公案』を基に「自己を習う」と設定しました。掛搭僧はそれぞれの母国で師家を志しており、学道の者・法を伝えようという者はすべからく向上の人であるべきという思いを込めたテーマです。さらに、今回は笠山禅師に関連する講義も例年より増やし、一仏両祖の御教えについて啓蒙に努めました。3カ月という短期間ではありましたが、掛搭僧たちは集中して修学に臨み、曹洞宗の教義や仏教・禅・日本文化への理解を深めました。

【用語解説】
師家……修行僧や在家者を指導する資格をそなえた者

東北そして長泉寺ならではの地域に根差した仏法を体験

巻頭でもお伝えしたように、今回の宗立専門僧堂は、檀家を有する寺院で初開単されたことに大きな意義がありました。

角田市内外を巡った3度の托鉢では、地域における日常生活の中に、ごく自然な形で仏法が浸透している様子に触れました。また、檀信徒の方のご葬儀に参列させていただき、日本において寺院が担っている大きな役割の一つを学びました。11月14日の総回向では、

布教教化

托鉢、禅文化・日本文化の学習、地域社会との交流など



葬祭ホールでの人形供養祭など日本独自の法要に、掛搭僧は強い関心を示しました。また、寺院建築や茶の湯、居合、表具などを体験学習し、日本の伝統文化と「禅」のかかわりについて理解を深めました。

本町の大沼玉子さん、笠島の佐藤正友さんのお宅では、托鉢の途中でお昼をご馳走になりました。地域の皆様のおかげで、掛搭僧は多くの貴重なことを学ぶことができました。



宗立専門僧堂 托鉢のご報告

9月27日 軒鉢 93,118円

10月21日 軒鉢 70,921円

11月13日 遠鉢

※遠鉢では浄財は募りません

合計 164,039円

角田市社会福祉協議会へ寄付



檀信徒の皆様とともに行持を執り行うことを学び、ご先祖様を供養する心のありようを実感できました。いずれも外国人掛搭僧にとつては初体験であり、母国で法を伝えていく上で貴重な学びとなりました。

また、地域の防災訓練やミネ幼稚園の運動会など、寺院の社会参加・地域交流についても体験できました。私たちのお寺には日頃からお参りに来られる方々がいらつしゃいますし、園児たちや保護者の皆様とも日常的に接する機会があります。地域に根差した寺院とはどのようなものを理解するには、非常に恵まれた環境だったと思います。

そして、東北で初開単されたこと、もう一つの大きな意義は、東日本大震災の被災地を訪問できたことです。今も生々しく残る被害の爪痕、そして被災者の方々の悲痛を目の当たりにし、掛搭僧たちは衝撃を受けていました。僧侶として自分たちに何ができるのか、今後の修行について改めて熟慮する機会となりました。

【用語解説】

軒鉢……一軒一軒の門前で読経し、喜捨を乞う托鉢
遠鉢……修行した姿で歩くことにより法を説く托鉢

典座寮へのご奉仕に対し、
曹洞宗管長より表彰状

このたびの宗立専門僧堂で典座寮（僧堂の台所を担当する部署）をお手伝いいただいた皆様に、曹洞宗管長親下より表彰状が授与されました。

大人数が長期間にわたって安否する僧堂を、食の面でしっかりと支えていただきました。日の出前から夜遅くまで、連日のご奉仕をいただきました。皆様のおかげで私たちは安心して修行に専念できました。心より感謝し、御礼申し上げます。



【表彰を受けた方々】
 中央 信子さん
 清水 多美さん
 中平 智子さん
 加藤 洋子さん
 奥野 まゆみさん

長泉寺 年末年始の行事予定

| | | |
|----------|--------|------------|
| 12/24(火) | 午前10時～ | 歳末助け合い托鉢 |
| 12/28(土) | 午前10時～ | 除災招福大般若祈祷会 |
| 12/31(火) | 午後11時～ | 除夜の鐘 |
| 1/3(金) | 午前10時～ | 新年大般若祈祷会 |

※12/30～1/3は葬儀を出しません。他の仏事は行います。

1区画 1.82m×2.12m(3.85m) お一人様2区画までお求め出来ます

永代使用料 **80万円** 及び 管理費年 **5千円**

設備 駐車場、駐輪場、水汲み場、手桶

特長 通路花崗岩版敷全面バリアフリー

場所 長泉寺東向い(台山公園北隣り)

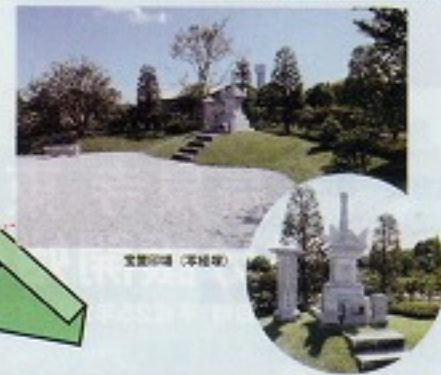
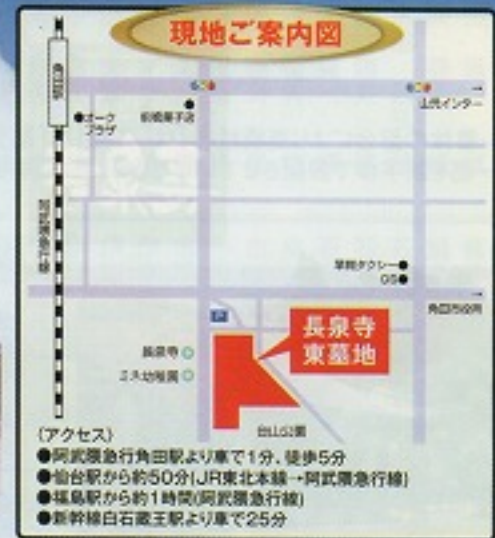


長泉寺では、今秋から東墓地の一般分譲を開始しました。お遺骨の有無にかかわらず、どなたでもお求めいただけます。また、墓地お求め後の仏事は、すべて長泉寺が執り行います。墓地内の通路や駐車場などの施設は、段差を排した平坦地になっており、老若男女を問わず、安心してお墓参りをしていただけるのが特徴です。

★★★お知らせ★★★

お参りする方に便利でやさしい墓地です。

墓地区画詳細図
第一期分譲106区画



段差のない全面平坦地、水道完備で気持ちよくお墓参りをしていただけます。

長泉寺東墓地の一般分譲受付を開始しました。
 お問い合わせはお気軽に【TEL 0224・62・1004】